

<実施事業所 報告>

インターンシップを通して 感じてほしい “働く楽しさと厳しさ”

「受入れ事業所：総合建設業」



<本店>

当社は、山口市に本店を置き、「地域のより快適な生活環境を創造する」ことを使命として地域に根ざした事業を展開している総合建設業、生コン・コンクリート二次製品製造販売業の会社です。当社では、10年以上前から毎年、専門学校、大学生のインターンシップ、高校生の体験学習を受け入れており、最近は中学生の職場体験学習も受け入れています。

また、昨年9月には、山口県教育委員会から「やまぐち教育応援団」として認定していただきました。今後も職場見学、就業体験等の受入れを積極的に行っていきたいと思っています。

さて、インターンシップを受入れる目的ですが、当社では、大きく区分けして2つあると考えています。まずひとつは学生の皆さんにインターンシップを通して会社での仕事とはどんなものかを体験してもらうことにより、仕事の楽しさや厳しさを感じてもらおうということです。もちろん、2週間程度の就業体験ではなかなか分からないとは思いますが、その中でも仕事の楽しさや厳しさを実感してもらえればと思っています。

ふたつ目は、当社社員の指導力の向上と活性化です。当社では、研修生に指導担当者をつけて面倒を見させています。担当者は自分の仕事をこなしながら、研修生に社会人としての就業態度からはじめていろいろな業務内容を教えていかなければいけません。そのためには、どのようにすれば、研修生が職場に早く溶け込めるか、どのように教えれば仕事内容をよく理解してくれるか、自分もよく勉強しなければいけません。研修生を教えることにより、社員も成長してくれればと思っています。

研修生の皆さんは、総じてまじめでわずかの期間でいろいろなことを吸収しようと張り切って来られます。しかし、いざ職場の中に入ってみると学校で学んでいることや想像していた現場での仕事と実際の現場での仕事に大きなギャップを感じることも多々あると思います。(現場サイドには、研修生を特別扱いせず、普通に扱うよう指導しています。)特に、私共建設業ではそのギャップが激しいのではないかと多くの研修生の話を聞いて感じています。けれども、そのような体験をしてこそ、今後の学生生活や将来の就職活動に役立つと考えてインターンシップの期間中は真剣に仕事に取り組んでいただきたいと思っています。

私共も、研修生の皆さんが、よりよい体験学習ができるよう最善の努力をしていくつもりです。